令和８年度富山大学地域連携推進機構
地域づくり・文化支援部門　特別公開フォーラム

第3回 富山の獅子舞シンポジウム

進化する伝統――魅せるための工夫とその創造性



日時 2026年11月22日（日）14:00-17:00

開場（13：30）

開催地 十社大神（射水市三ケ（高寺）1753）

問い合わせ先　富山大学五福高岡地区事務部芸術系総務・学務課
電話：0766-25-9138　E-mail：tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp

主催：富山大学地域連携推進機構地域づくり・文化支援部門
共催：富山大学人文学部文化人類学研究室　富山大学芸術文化学部田邊研究室
後援：公益財団法人富山県ひとづくり財団

参加無料　申込不要

内容

日本には様々な祭りが存在し、地域社会の伝統として受け継がれてきました。こうした伝統は「過去の形をそのまま後世に伝えるもの」というイメージを持たれがちです。しかし、実際には祭りの担い手が工夫を凝らし、時代に合わせてその細部を変容させることなしには、継承できなかった祭りがほとんどです。近年の富山の獅子舞においても、松明を使用する団体が増加するなど、他地域の実践を参考に、自分たちの獅子舞を「よりかっこよく、より立派なものに」と、深化させる動きが見られます。過去の人びとも同様に、自分たちの獅子舞をより魅力的にすることを追求してきたはずです。この「いかに魅力的に魅せるか」という情熱こそが、人びとを獅子舞に駆り立て、伝統を後世へと繋ぐ、本当の原動力ではないでしょうか。

本シンポジウムでは、実践者たちが自らの獅子舞に行う工夫や、新たな舞・囃子の創造に焦点を当て、いかにして新しい伝統が生み出されているかを、フロアーも含めて議論します。各団体の先駆的な試みを共有し、富山の獅子舞が未来へと躍進する契機となることを目指します。

登壇者

楓原秀（三ヶ錦町獅子舞保存会）

久保田裕道（国立文化財機構東京文化財研究所）

諏訪雄士（はくい獅子舞保存活性化実行委員会委員）

コメンテーター　野澤豊一（富山大学）　司会　田邊元（富山大学）

プログラム

開催挨拶　會澤宣一（富山大学 地域連携推進機構長）

趣旨説明　安嶋是晴（富山大学 地域づくり・文化支援部門長）

第一部　基調講演　14：00-15：00

「獅子舞文化の創造性と多様性」講師：久保田裕道

休憩　15：00-15：20

第二部　シンポジウム　15：20-17：00

「能登地域における獅子舞の進化」登壇者：諏訪雄士

「射水市三ケの事例報告」登壇者：楓原秀

討論

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。